

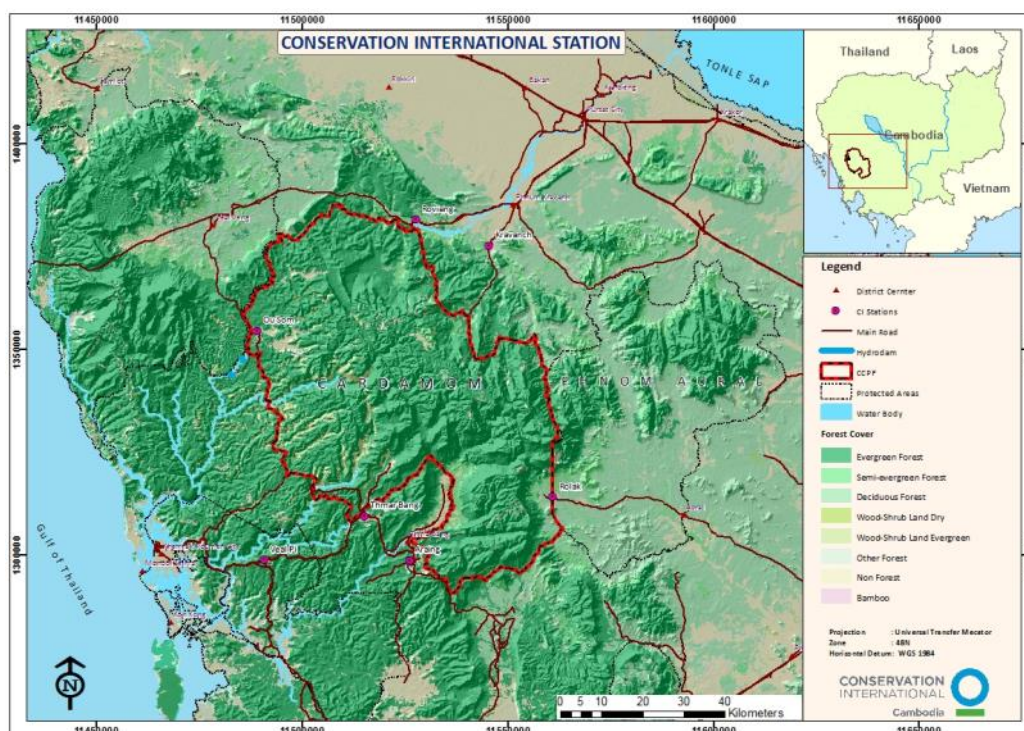
カンボジア 中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2014年11月14日
コンサベーション・インターナショナル

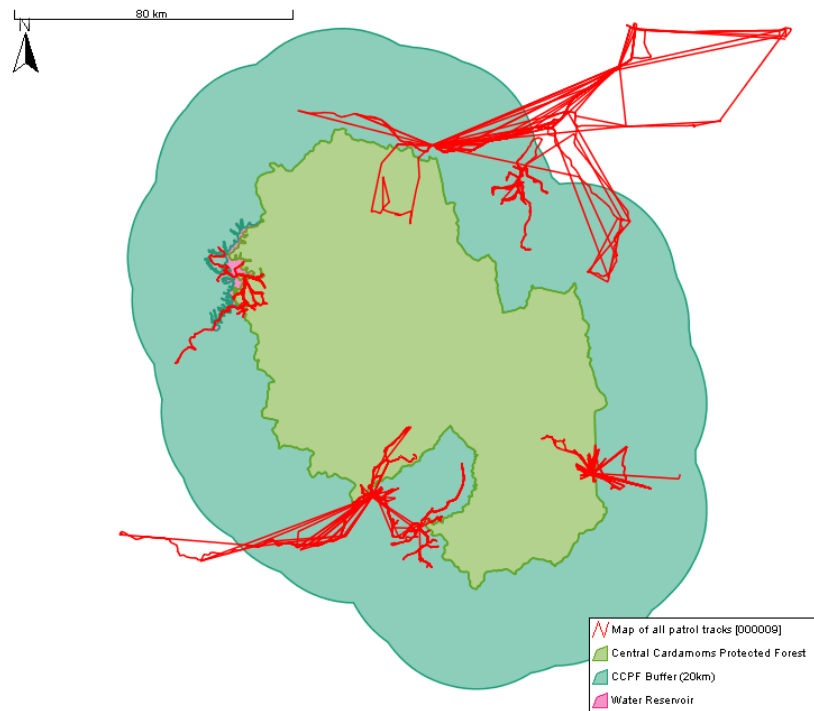
中央カルダモン保護林

カンボジアの南西部にあるカルダモン山は、美しい自然が広がる、東南アジアで最も原始的な森林地帯の一つです。国内で一番雨が多く、カルダモン山から流れ出る水が何万人もの人々の生活を支えています。その心臓部に位置する約40万ヘクタールの中央カルダモン保護林で、先住民コミュニティや政府と共に、私たちは森林を保全する活動をしています。



森林パトロール

森林を保全するために欠かせないのがパトロールです。違法伐採や密猟がまだまだ多く、カンボジアの森林局と地元コミュニティのメンバーがレンジャーとして日々違法行為の取り締まりに取り組んでいます。図中の緑色が中央カルダモン保護区。その周囲20キロの周辺域もパトロールしています。7月～9月の3ヶ月間、赤線で示した合計6千キロ以上を、時にはキャンプをしながら、延べ1325人・日がパトロールしました。



違法伐採木の押収

7月、違法伐採者の野営地を捜索し、干草の下に隠された16立方メートル（ドラム缶約80個相当）の高級木材を押収しました。中央カルダモンには貴重な木がたくさん生えていて、高値で売り飛ばすことを目的とした違法伐採者が森の奥深くまで入ってきます。組織的な犯罪の場合もあり、細心の注意が欠かせません。



小型無人飛行機

とても広い中央カルダモン保護林。40万ヘクタールというのは、東京都の面積の約2倍です。私たちは、森の奥深くでの比較的大きな変化をいち早く見つけられるよう、小型無人飛行機を使った空からのパトロールも試みています。あらかじめ登録したルートに従って飛び、取り付けられたカメラで森の様子を撮影してくるこの飛行機。レンジャーの力強い助っ人として期待されています。



より良い森林管理に向けて

4人のレンジャーが保護林の管理のトレーニングに参加するため、お隣の国タイに行ってきました。2週間、国境をまたいだ違法行為をどう防止するか、みっちり学びました。カンボジアのように陸続きの国では、国境に関係なく森がつながっていたり、密猟された動物や違法に伐採された木が国境を越えて運ばれたりします。保護林の管理では、そういった犯罪への対策も必要です。



エコツーリズム

プロジェクトでは、コミュニティ主導による、コミュニティの収入源となるエコツーリズムの開発も行います。今期、私たちは、コミュニティグループと話し合いを重ね、体制や必要な設備などについて話し合いました。次のステップは、エコツーリズム事務所の開設、そして中央カルダモンで体験できるエコツーリズムを広く知ってもらうことです。

